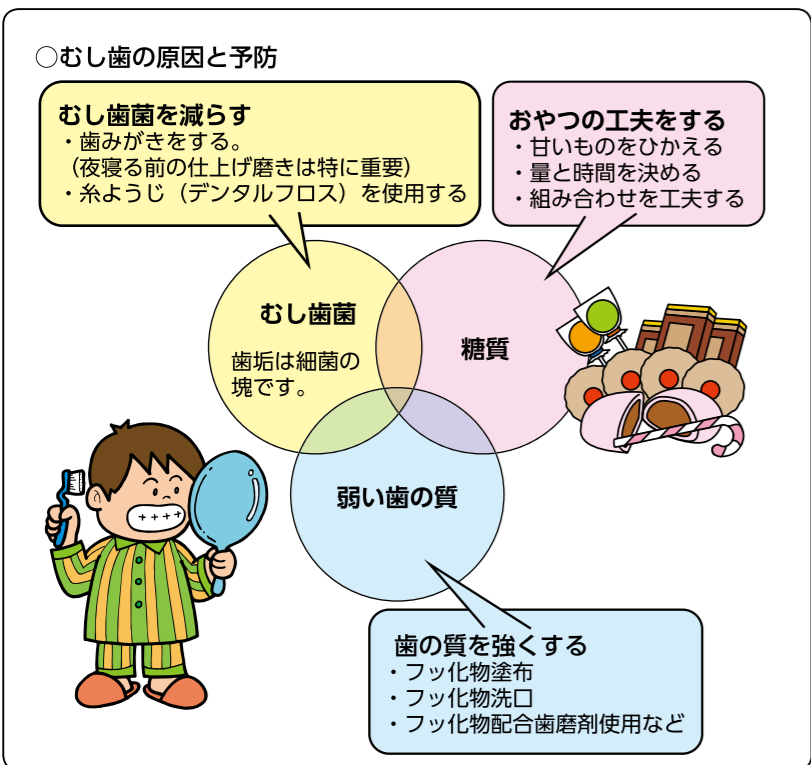
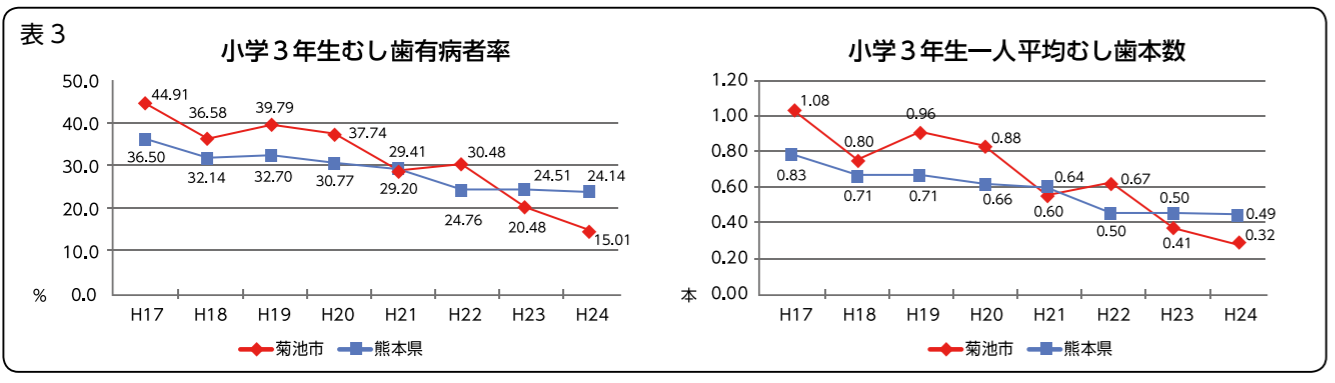




菊池っ子のむし歯の現状

子どもたちの歯とお口の健康を守ることや、将来むし歯菌や歯周病菌が原因となる生活習慣病から子どもたちを守るために、妊娠期からの歯科教育や乳幼児歯科健診、保育園・幼稚園・小中学校での歯科教室、フッ化物を利用した歯質の強化などを行っています。今回は、本市の子どもたちのむし歯の現状や課題について考えます。

問い合わせ先 健康推進課健康推進係
☎ 0968(25)7219



むし歯の原因と予防

むし歯の原因は、「①むし歯菌 (ストレプトコッカスミュータンス菌)」「②甘い食べ物や飲み物」そして「③弱い歯の質」です。

口の中のむし歯菌が砂糖を分解して酸を作り、この酸が歯の表面を溶かしてむし歯になります。

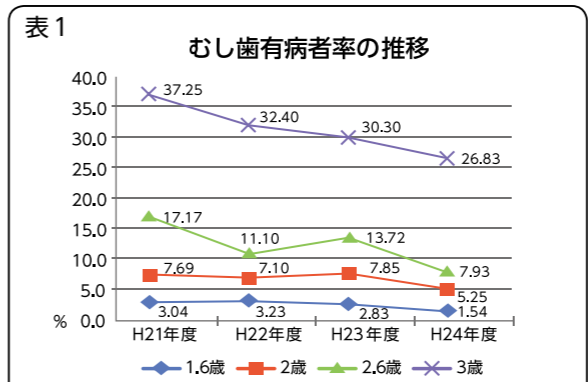
よって「①むし歯菌を減らす」「②おやつを工夫する」「③

歯の質を強くすること」で予防することができます。

また、むし歯菌は感染します。生まれたばかりの赤ちゃんの口の中にはむし歯菌はいません。むし歯菌は、大人が使った箸やスプーンで食べ物を与えることによって、まわりの人から移ります。口移しをしないことや家族みんなが口の中をきれいにしておくことで、むし歯菌の感染を防ぐことができます。

歯は一生の宝

本市は県内でもむし歯の多い地域でしたが、積極的に歯科保健事業に取り組むことで子どもたちのむし歯は確実に減少しています。しかし、依然として幼少期から甘いお菓子やジュース類を飲食する習慣がみられ、仕上げ磨きも不十分な現状があります。今後、プ



「むし歯有病者率」と「一人平均むし歯本数」

幼児健診におけるむし歯有病者率、1人平均むし歯本数は表1のとおりです。年齢が上がるにつれ、ともに高くなっていますが、年々減少傾向にあります。

歯科アンケートの結果

歯科アンケート結果は表2のとおりです。早い時期からむし歯になりやすい甘いお菓子やジュース類を飲食する習慣がみられ、3歳児で約80%が甘いお菓子やジュース類を飲食しています。

フッ化物洗口の効果

フッ化物を利用することで歯質を強化し、むし歯を予防することを目的に、平成17年度から市内の全ての保育園と幼稚園でフッ化物洗口を行っています。第1大白歯(6歳白歯)が生えてくる5~6歳頃から2~3年以内がむし歯になりやすいことから、フッ化物洗口の効果を見るには小学3年生頃が適しているといわれています。

むし歯有病者率、1人平均むし歯本数ともに年々減少しており、平成24年度は県平均よりも減少しています。(表3参照)

献血にご協力ください

とき 9月30日(月)
午前9時30分~11時
正午~午後4時

ところ 市役所正面玄関前

内容 400ml 献血

服薬に関する基準が変更されたことで、薬を飲んでいる人でも献血できる場合があります。会場でも献血できる場合がありますのでご相談ください。献血の安全性向上のため、運転免許証やパスポートなどの身分証明証による本人確認をお願いいたします。皆さんのご協力をお願いします。

歯ツピキッズ

7月12日・19日の歯科検診の結果で、むし歯がなかった子どもを紹介いたします。

(敬称略)

村上琴音	(菊)	遊蛇口
藤川叶音	(菊)	立町
生田叶愛	(菊)	横町
石口怜哉	(菊)	玉祥寺
中村斗真	(菊)	遊蛇口
吉田七翔	(菊)	北原
梅津はるな	(菊)	立石
白坂優希菜	(菊)	片色
田村世桜	(菊)	伊牟田
立原永愛	(菊)	北宮
元村結愛	(菊)	塚原
生田絆菜	(菊)	上木庭
木築優之助	(旭)	岩本住宅
嶋崎太星	(旭)	新明団地
古庄結花	(旭)	富の原東
川上也真斗	(西)	福本団地
菅 萌花	(西)	北原団地
野村汐音	(西)	富の原北
数田瑞乃	(西)	東原団地

むし歯予防のためには、家族ぐるみで取り組むことがとても重要です。これからも「甘いものを控える」「歯みがきをする」「歯を強くする」「定期健診を受ける」「仕上げ磨き」を心掛けましょう。

